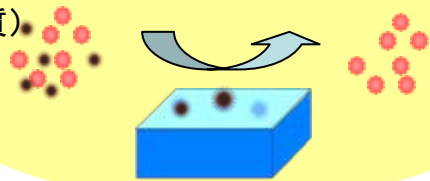


どのような研究をしているか

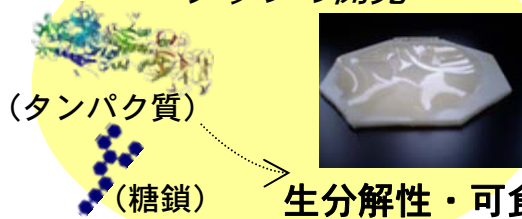
生体高分子を目的に応じて分子レベルで化学修飾し、新しい生体機能材料(バイオマテリアル:生物(生体)+物質(材料)=の造語)の開発にチャレンジしています。特に、医療や創薬の研究分野で利用できる物質・材料や、生物や生体に由来する物質を有効利用する方法について、研究しています。

有毒物質(アレルギー関連物質)を吸着・除去する材料の開発

(有毒物質)



生分解性・可食性プラスチックの開発



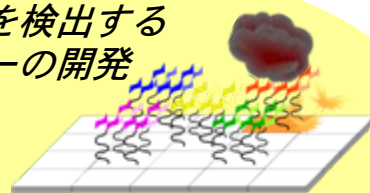
生分解性・可食性フィルム

コンタクトレンズ用酸素透過性高分子膜の開発



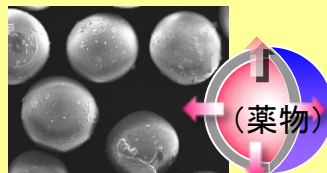
毒物・ウィルスを検出するバイオセンサーの開発

(毒素・ウイルス)



糖鎖センサー

投薬技術(マイクロカプセル・DDS・徐放技術)の開発



マイクロカプセル

(細胞膜)

感染メカニズム解明のための生体模倣分子の開発

生体模倣分子

研究室紹介

卒業研究生(学部4年生): 12名

大学院学生 博士課程: 1名

修士課程: 4名

学生1人1人が独自の研究テーマに取り組み、研究結果をまとめて、国内・海外で開催される学会に積極的に参加して学生自身が発表しています。研究も遊びも共に楽しめるゼミの仲間ができます。

先輩に聞く 研究室生活で思い出に残ったこと&高校生へのメッセージ

・大学って感じ!って思う一年でした。工科大は、カリキュラムの種類が豊富で、何になりたいか決めかねてる人にはいいかも。

(就職:化学系)

・興味がある分野の勉強出来たし、皆でワイワイやったし、一番充実してました。(就職:化学系)

・苦労もたくさんでしたが、いい実験結果が出たときの喜びはいつまでも忘れられないものです。(修士卒 就職:医薬品系)

・自分がやりたいと思う研究をできたことです。研究が上手いかわからないときは、みんなが協力してくれて、とても研究しやすい環境でした。

(就職:医薬品系)

・一番学部を実感した一年間。共に過ごした仲間との絆は一生の宝です。

(就職:システムエンジニア)